



開催日時：2012年9月27日(木)19:00～21:00

場 所：トキ交流会館 大ホール

参加者：一般10名、関係機関2名、事務局9名

座談会進行役：関島恒夫(新潟大学大学院・准教授)

天王川中流部整備後の利活用や維持管理の方向性について話し合いました

今回の座談会は、以下の事項について説明し、天王川中流部整備後の利活用や維持管理を中心に話し合いました。

- ①これまでの振り返り
- ②利活用、維持管理事例の紹介
- ③中流部で考えられる活動内容(案)

話し合いでは、意見を付箋に記入し、まとめた結果を発表する形式で行いました。(詳細次頁参照)



座談会での話し合いの様子

中流部整備後に実施可能な維持管理活動等

多く挙げられた維持管理内容は、「草刈り作業」、「ゴミ拾い」でした。また、観察会の実施、生物のモニタリングや広報といった、維持管理を推進する活動も挙げられました。

維持管理活動等の実施にあたり心配なこと、必要な支援

心配なこと・必要な支援としては、維持管理に係る道具や、トキの観察場所、駐車場等のハード整備が挙げられました。また、維持管理活動を継続するためのしくみづくりについて多くの意見をいただきました。

今回の話し合いでは、以下の事項を話し合いました。

第12回座談会で話し合ったこと

- 天王川中流部整備後に地域が実施できる活動として、草刈り、ゴミ拾い等の維持作業や、生物の観察・調査、ならびに活動に係る情報発信などが挙げられた。
- 維持管理等の活動を継続させるためには、「しくみづくり」が重要であるため、今後も議論を行う。次回座談会までに地域や所属する団体でこれらのしくみづくりなどについて話し合いを進めていただく。

座談会でいただいた意見の整理

維持管理活動の方向性を話し合うため、①中流部整備後に各自あるいは所属団体で実施可能な維持管理活動等、②維持管理活動等の実施にあたり心配なこと、必要な支援について、参加者の皆さんに付箋に書いていただきました。付箋に記入いただいた内容は以下のとおりです。



付箋記入の様子



座長による付箋記入結果の発表

①中流部整備後に実施可能な維持管理活動等

キーワード	記入いただいた内容	キーワード	記入いただいた内容
維持作業	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り【8名】 ・ゴミ拾い【6名】 ・植樹（花木） 	維持管理へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングにより得られたトキの餌場の観点からの必要な維持管理内容の提案 ・トキの利用状況の報告と、具体的な改善の提案
観察会の実施や案内	<ul style="list-style-type: none"> ・放鳥トキの観察会の実施 ・トキガイド説明案内 ・食事、温泉、周辺の観光案内 ・学校、保育園の児童が来たとき、安全を守るボランティア 	人材育成等	<ul style="list-style-type: none"> ・土木技術者の研修 ・トキの生態や生物多様性に関する解説、学習フィールドとして活用（小中学生や視察団に対して）
イベント・催しの開催企画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが水と触れ合うイベント（魚のつかみ取りなど）への協力 ・フェスティバル 	広報	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が関与した形での川の自然再生のモデル的ケースとして全国にアピール
生物調査・モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの生物調査 ・生物調査 ・モニタリング（トキ・野鳥・魚類） 		

②維持管理活動等の実施にあたり心配なこと、必要な支援

キーワード	記入いただいた内容	キーワード	記入いただいた内容
道具等	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りカマ・替刃・油 ・集積用ほうき ・ゴミ袋、軍手【2名】 ・調査の道具 	ハード整備	<ul style="list-style-type: none"> ・トキの観察場所の整備 ・トイレ ・車の駐車 ・周辺用水路の多自然化
連携体制・しくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理を行う団体と住民の天王川への想い ・地域との連携関係の確保 ・トキをよく知る地域の人の情報が維持管理する人へきちんと伝わる連携が必要 ・人やトキが近づきやすい場を維持するしくみづくり 	ソフト対策・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・作業するにあたっての行政的手続きの簡略化 ・教材、子どもなど ・刈取った草の処理 ・無理のない維持管理活動（雨天中止等）
ルール	<ul style="list-style-type: none"> ・トキと共生できる利用ルール ・山草荒し 		

付箋でいただいた意見内容を確認した後、全体で意見交換を行いました。数多くいただいた意見からいくつかを以下に紹介します。維持管理等の活動を継続させるしくみづくり等について御意見をいただきました。

- 草刈りは継続的な実施が必要であるため、長続きしないかもしれない。シルバー人材センターを活用する方法もあるのではないかな。
- 現在、天王川は地域の方に利用されていないので、天王川は地域の方の意識の中では、死んだ川になっているのではないかな。大学や専門学校の自然再生の研究フィールド等として利用することも考えられる。利用に結びつけるしくみをつくることで、このような活動をしたいという熱い思いがある雰囲気ができるとうい。
- 天王川流域の住民だけでなく、広域の人たちにご参加いただきながら、新しい川をつくる意気込みで、天王川再生に取り組んでいく必要があるのではないかな。

今後の座談会について

今後の座談会では、維持管理活動を継続させるためのしくみづくりについて、皆様とともに議論をしていきます。